

---

---

## ガバナーからのメッセージ

### ガバナー退任にあたって

国際ロータリー第2660地区

ガバナー

進岩 潤佳

6月23日にインディアナポリスにおける国際大会から帰国し、新旧地区幹事会、青少年交換委員会、米山記念奨学会評議員会、GSE会合を経てようやくガバナー任期満了となりました。この一年間、激務ではありましたが素晴らしく充実した毎日を過ごさせて頂き、多くの知己を得、学ばせて頂いたことに感謝しています。同期の会長、幹事様も恐らく同感ではないかと推察しています。ご苦労様でした。お陰様で無事任務を終了させて頂きましたが、これもひとえに同期の会長様、幹事様をはじめすべての会員の皆様の方強いご支援の賜と心から感謝申し上げます。ガバナー就任以来「ロータリー精神の原点に立ち戻り、ロータリー活動を見直そう」と提唱し、率先して遂行すべく心掛けて参りましたが、80年近い歴史と伝統が厚い壁となり一朝一夕にはとても片付けられないことを思い知らされました。しかし、この壁のまえに立って、どんな大きな岩であっても小さな隙間から入った水が凍って崩壊するように、その隙間をまずつくれば良いのではないかと闘志をかき立てられ、僅かではありますが、今までとは少し違った方向をお示しできたのではないかと考えています。時間はかかっても絶ゆまぬ努力の積み重ねで心ある同志を得ることもでき、最後には原点にたどり着けるのではないかと望みをかけています。後任のガバナー、ノミニーに期待するところ大であります。

この一年間ロータリーの、そして人生の先輩をも含め私なりの考え方を独断的ともいえる態度で議論して参りました。その非礼をお許し頂きたいと思いますが、それはあくまでもロータリーという組織の中でのことであって、ロータリーに対する私の信念と見直しへの情熱に由来するものであったことをご理解頂きたいと願っています。ロータリーの原点は愛であり、ロータリーは愛に始まって愛に終わるとガバナー就任に際し皆様に申し上げました。そして、ロータリアン一人一人がI Serveに徹し、身近なところから奉仕を実践し、それをクラブに、地域に、日本に、そして世界に拡げようとお願ひしました。奉仕とは、見返りを求めず、奉仕のできる自らの境遇に感謝し、救いを求める人の喜びから得る感動を心の糧とするものであります。そして、まず、奉仕を実行して下さい、必ず素晴らしい感動を得ることができます、どうしても身体を使えずまた時間もない方はその心を献金という形で表わして下さいとも申し上げました。ロータリーは奉仕団体であり寄付団体ではないからです。お陰様で会員の中で共感して頂く方も比較的多くおられ激励を受けました。今後もパスト・ガバナーとして皆様のご支援を頂き理想のロータリーを目指して努力を重ねたいと思っております。

一年間を振り返り気のついた点を披瀝し、ご参考に供したいと思ひます。まず、退会者の件であります。この不況の世の中で残念ではあります経済的理由で退会される方、健康を害された方、そして転勤される方など引き止めることのできない方は致し方あり

---

---

ませんが、判然としない理由で退会される方が比較的多いということが問題であります。面白くないという理由でやめられる方には、増強を計るために入会前にロータリーの本質の説明より楽しさを過大に説明したため思惑がはずれた人もおられるでしょうし、クラブ内の感情的な問題で退会される方もあるようです。特に後者はおよそロータリーらしくない問題でありクラブの管理が充分行き届いていない点が指摘されます。ロータリアンはそれぞれの社会で一国一城の主ですが、ロータリーの中ではそれは許されるものではありません。すべての会員は対等に尊敬されなければなりません。派閥をつくって主導権を握ること自体避けなければなりません。I Serveに徹すればすべての会員に同様の友愛の心を捧げられるからです。クラブの存在はロータリーの基盤であります。そのクラブを会員同士の結び付きでしっかりと自己管理して頂きたいと願っています。

次に地区とクラブとの問題であります。現状では地区とクラブとくに会員との間が互いに充分理解されていない点であります。地区委員の方々は全力を挙げて地区事業に取り組んで頂いています。しかし、クラブに対しての、また、クラブからの情報伝達が行き届いていないため対立的な関係に陥る場合もあり、さらに、地区自身が独善的な行動をとっているかに誤解されることも有りがちです。地区委員は地区での討議内容などこまめにクラブで説明し、もっと関心と理解をもってもらうようにしては如何でしょうか。また、逆にクラブの方ももっと関心を寄せて頂きたいと思います。そのためにはできるだけ多くのクラブから多くの新しい委員を出して頂き、任期を決めて人事の刷新をはかり、地区とクラブとの人事の歯車を噛み合わせ流通させることが必要かと思えます。地区委員になることによりクラブの要望を取り入れることができますし、また、任期を終えクラブに戻ったときに地区の理解者としてクラブとの連携を深める役目或いは誤解を解く役目を努めることができます。

今年度も財団寄付につきまして多大のご理解を頂き感謝しております。また、米山記念奨学金寄付につきましてもご協力有難うございました。ただ、米山寄付につきましては今年度の(財)米山記念奨学会の処置に疑問を感じています。本奨学会から(財)米山記念会館に多額の寄付が行われたことであります。米山寄付は外国人留学生の学資の為にと会員から寄付を頂いているものと理解して下さり、定款にもそのように記されています。今回はその定款を文部省と相談して大幅に解釈してのことだそうであります。このことが果して許されるべきことなのでしょうか。評議員の一員としてこのような結果になったことに対し、責任を感じ敢えて実情をお伝えします。記念館の増築に寄付するのであれば、それ以前に奨学金の用途に対しより工夫を凝らすべきではないかと思えます。前にも申し上げましたように、現在はわが国に来ている学生に奨学金が支払われていますが、旅費がなく来日できないけれど向学心に燃え日本に来たい人達が沢山いるということです。この人達にチャンスを与えればどれほど感謝されるかを考えて見たいものです。米山氏の功績は偉大であることは誰も認め、感謝し、そのため米山記念と命名されたところでもあります。これと記念館とはまた別の問題であります。果して米山氏が記念館にお金をかけることを喜ばれるでしょうか。

思いつくまま書いてきましたがまだまだ問題はあります。これらに関しては、部

---

---

門担当PGとして担当を交代するごとに委員の皆様と見直しをして行きたいと考えています。いずれにしても一人一人がロータリーの原点をしっかりと把握しておれば解決できる問題であり、結局はそれにつきるともいえます。

一年間本当にご支援有難うございました。これからはPGとして静かな闘志を燃やしたいと思っています。今後とも宜しくお願いします。

## 1997-98年度地区運営について

地区代表幹事 井上 暎夫

本年度、近藤雅臣ガバナーは「ロータリー精神の原点に還り、ロータリー活動を見直そう」と訴えられました。

これを受けて、改革の第1歩を印そうと地区幹事一同この方針に従い、努力して参りました。

1年を終えてみて、果して当初の意気込通りの運営となったかどうかは皆様のご意見を伺わねばなりません。一石を投ずることは出来たかなと総括致しております。

地区内クラブの皆様、地区組織の全ての皆様方に叱咤激励そして絶大なるご協力を戴きましたことをこゝに厚くお礼申し上げます。

本年度に於いて新たに行ないましたことを記しましてご報告させていただきます。

### (1) 次期ガバナー・ノミニ―事務所経費引当金

従前はノミニ―選出クラブの立替等により運営されておりましたが、次年度より地区会計より支出出来る様致しました。

### (2) クラブ事業助成金

ロータリー活動の原点はクラブの事業にあるとの立場で、優秀なクラブ事業に対して助成金を支出することにした。

### (3) 特別会計

引き継ぎ時9つの特別会計がありましたが、諮問委員会にて「特別会計についての申し合わせ事項」に賛同頂きその設置をより厳しく規制し、3つの特別会計に整理し、次年度に申し送りました。

### (4) 地区委員会運営

地区委員会開催の準備等は委員会に委せ、事務局員、地区幹事の出席を止め事務局が地区内クラブにスタンスを取れる様、努力しました。

### (5) 地区大会

皆様の全員登録のご協力によりネームカードの作成を止め、各クラブ事務局員の応援もなくなり受付等の簡素化を計りました。

また、地区大会の剰余金をクラブへお返し致しました。

以上